

乳幼児の遊び学ぶ

一色高 3年生 リトミック講習会

県立一色高校で9日、生活デザイン科3年生39人(男子4人・女子35人)を対象に、保育体験実習「リトミック講習会」が開かれた。子どもの情操や芸術的想像力を育てる音楽教育「リトミック」を、幼児教育の現場経験者から学ぶことで、子どもの表現活動の重要性を理解し、子どもの発達を促す技術を身につけようといわれた。これまでは慈恵福祉保育専門学校の教員を迎



稲生さん(右)の指導で乳幼児の遊びを学ぶ生徒たち

え、同専門学校の模擬授業を行っていたが、本年度はコロナ禍で保育園に出向く実習ができないため、生徒が保育士役と園児役になってリトミックを学ぶことにした。

この日は、同専門学校の教員の稲生圭子さんを迎え、乳児(0〜2歳)の遊びと幼児(3〜5歳)の遊びを体験した。2人一組で布を使って「いないいないばあ」をしたり、3人組で2人が木、1人がリスになって鬼ごっこ遊びをしたり、体遊び「パイナポー体操」を学んだりした。同専門学校では「男子も含めて保育士という仕事に興味を持ってもらえるきっかけになれば」と期待を寄せていた。

2021年7月11日 三河新報